

令和2年度 第2回河南町総合教育会議 議事要旨

日 時 令和3年2月18日（木）午後2時00分～午後3時00分

場 所 河南町役場 4階大会議室南

出席者

町長 森田 昌吾
教育長 新田 晃之
教育委員会委員 西川 幹雄
教育委員会委員 安居 美千代
教育委員会委員 行待 彩子
教育委員会委員 藤原 充

（町職員出席者）

教・育部 湊部長、城者副理事、内山副理事、教育課 中海課長、こども1ばん課 田中課長、
中央公民館・大宝地区公民館・図書館 森館長

事務局：総合政策部 辻本部長、秘書企画課 池添課長、森口課長補佐、上野係長

傍聴者 1名

1 開会

（上野係長）

本日は、お忙しい中、令和2年度第2回河南町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

……会議の公開について確認・・・公開とする

それでは、ただいまから令和2年度第2回河南町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに、配布資料の確認をさせていただきます。

……配布物確認

不足の資料はございませんでしょうか。

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず始めに、森田町長からご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

（森田町長）

皆さんこんにちは。皆さんお忙しいところお集りいただきましてありがとうございます。

今年度にはいりまして、2回目の総合教育会議ということで、前年度はいろいろとありまして開催できませんでしたので、今年度2回目の開催となっております。開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方には、日頃から教育行政に何かとご尽力いただきましてありがとうございます。昨年より新型コロナウイルス感染拡大が広がりまして、学校等の臨時休業等や、公共施設の臨時閉館もあって、今現在も再び緊急事態宣言中ですが、学校の方は通常とおり勉強している状況です。

公共施設については午後 8 時以降外出自粛ということになりますので、8 時までの開館ということでご理解を頂きたいと思っております。徐々に陽性者数が減ってきている状況ですので、もう少しでまた変わる可能性もございます。

教育長について、昨年の 12 月の議会で同意をいただきまして、新田教育長に引き続き教育長の任務をお願いするということになりましたのでよろしくお願いいたします。

本日の議題ですけれども令和 3 年度における教育関連の主な事業とその他、私が就任しまして、ほぼ 1 年になりますが、新型コロナウイルス感染症の対策等いろいろと実施してきました。事務事業や住民サービスの向上を進めていくにあたって、平成 22 年に一番大きな機構改革があって、その後マイナーチェンジしてきたわけですが、事務処理のスムーズさ、住民サービスの向上という観点から少し考えてみますとスポーツ関係については、町部局の方、健康福祉部の担当でしたが、スポーツは教育、社会体育はもともと教育委員会でやるという方向で検討していきたいなと思っておりますので、その点踏まえて、検討させていただくということで、今日はお知らせさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の関連予算については、今回は当初予算の説明ですが、国の第 3 次予算が少し遅れたこともありまして、当初予算にすべてを計上しておりません。

当初予算も補正予算も 3 月中にもう一回編成するか。今年度の最終補正予算で補正して来年度に繰り越して行うかを見極めて予算を計上したいと思っております。その点につきましては、もう少し時間を頂いてご説明をできる段階があれば説明をさせていただきます。以上でよろしくお願い致します。

(上野係長)

ありがとうございました。

これからの議事進行につきまして、河南町総合教育会議運営要綱第 5 条に基づき、町長に議長を務めて頂きます。森田町長よろしくお願いします。

(森田町長)

それでは、お手元の次第に沿って、進行していきます。

まずは、議題（１）「令和 3 年度における教育関連の主な事業について」でございます。それでは事務局より説明をお願いします。

3 議題

○議題（１） 令和３年度における教育関連の主な事業について

（池添秘書企画課長）

資料１ 令和３年度における教育関連の主な事業について

……議題１（資料１）を説明

<質疑応答>

（森田町長）

今、説明がありましたが、疑問点があればご意見等をお願いします。

（藤原委員）

資料１の学校教育の充実のなかで、触れられていないところで質問が１点あります。文部科学省の指針では、今現在のデジタル・ネット社会のことを Society4.0 と呼んでおり、今後はそこから Society5.0 の世の中に進んでいくとされています。Society5.0 とは何かといいますと、今の社会におけるネットやデジタルは我々が入力して作業することで初めて答えが出ますが、近未来の Society5.0 では我々が入力することなく、物に取り付けたセンサーが位置情報や環境情報、温度や周りの情報を自動的に察知してネット通信で世界のそれぞれのパソコンに発信できる、という社会とされています。子どもたちはそのような近未来の Society5.0 に対してついていかざるを得ないし、私たちもそれに対して支援をしていかなければならないと思います。後の教育定例会にもテーマがあるようですが、近未来の Society5.0 という環境に置かれる子ども達に対して、河南町としてどのように学校教育の中身を充実していくのか基本的な考えがあればお聞きしたいです。

（湊教・育部長）

今後のデジタル化に向けての教育との整合性というお話がありました。Society5.0 については、文部科学省が提唱している GIGA スクール構想の理念にも合致しております。Society5.0 時代を生きる子供たちにふさわしい、誰一人取り残すことのない公正、個別、最適化され、総合性を育むための学びを実現するため、すべての児童生徒に１人１台の端末などの ICT 環境を整備する。そして、これにより正に始まりました GIGA スクール構想において、手探りではありますが学校現場の教育方針を深めていきつつ、実際のこどもたちの教育の在り方について教職員と検討を進めていくところです。

この国の方針に基づいて、まずはこういった形から一步一步進めていけたら、と大きな方向性としては考えています。

（森田町長）

よろしいですか。

(藤原委員)

ありがとうございます。

(森田町長)

ほかにございませんか。

(西川委員)

今回示していただいた主な事業のうち、2番「学校教育の充実」の1番最初の「少人数学級編成事業」について、感想も踏まえて少しお話させていただきたいと思います。

実は、僕も学校を預かったのですが、どこの学校でも課題のある子どもさんがおられたり、あるいは少ししんどい学年があったりと、校長先生をはじめ先生方は一人でも多く先生をいただきたいということが一番大きな願いで、それで皆が悩んでいるところがいっぱいあります。そのなかにおいて、昨年度からの少人数学級編成事業で1名を加配していただいたことは素晴らしいことです。教員の場合は定数法という法律があって配置される人数が決まっていたり、あるいは大阪府教育委員会から加配の条件があって、なんとかうまくやりくりしながらやっておられることが一般的なことです。河南町は独自で1名とってこられることが非常に大きな成果であり、高く評価されることだと思います。

他の市町村でも、これをやりたいけれども財政的な措置などの問題でできない現実がある中で、河南町では大きく一歩前進した取り組みをして頂いていると思います。

これからも、このように一番大事なところにお金を使っていく。特に先生一人、単に学級に一人ですが、それは一年間継続して子供たちに効果をもたらすことなので、とても大事な事業であると捉えています。

今後もこのような理念を大切に頂いて、緊急的にどうしても先生を1人加配しなければならぬ事態が起きた時には、柔軟に予算を充てて対応する流れを作ってもらいたいと思います。特に一番評価できる事業ではないかと感じています。以上です。

(森田町長)

小学校の少人数について、これは私が副町長時代にいろいろ学校の統合のことがあり、中学校への繋ぎとして小学校6年生については35人の少人数学級で対応していこうということで徹底していますので、引き続いて進めていこうと思っております。ただ、来年度の小学校6年生はそのような状況になっていないので、今回は入っていないということです。

かなん桜小学校の小学校5年生は、40人学級のところで少し定員がぎりぎりということクラスを分けるという特別な対応をしております。

ただ、国の方で1年生は35人学級、大阪府の独自として2年生が35人学級でやっておりますが、それを順次上げていくということがほぼ決まっていますのでその方向で進めていく。それまでの間はこういう形の対応を引き続きしていきたいと思っておりますので、

よろしくお願いします。

今年はシンガポールについて予算を見送りさせて頂いております。これはなぜかと言いますと、新型コロナウイルス感染症の関係で少し悩ましいところがありまして、夏に実施しようと思えば春すぐに事業に取りかかかなければならないのですが、春に判断するのが難しいのではないのかと言うことで、教育長といろいろ相談しまして今回は見送りさせて頂きましたのでよろしくお願いします。

(新田教育長)

イングリッシュキャンプの方は残っていますね？

(森田町長)

府内で実施するものについては残しています。あくまで府外に行くものを控えるということです。キャンプについては府内で実施するもので新型コロナウイルス感染症の状況を見極める余裕がもう少しあるため、予算計上はしておいて新型コロナウイルスの感染が拡大するということになればその時点で判断を行うということで考えております。

(藤原委員)

4番目の社会教育・生涯学習の充実というところですが、上から二つ目のイングリッシュキャンプ実施事業ということで去年に教育長と一緒に参加させていただきました。貝塚市の立派な施設でして、私はこのイングリッシュキャンプ実施事業は素晴らしい企画事業と思います。

私自身も凄く英語が好きで大学時代に2か月程サンフランシスコに英語を勉強に行った体験があります。体験をしていろいろな失敗を多く重ねれば重ねるほど、私は青少年指導員を今やっておりますが、子どもたちの決してあきらめない強い心を育むと私は信じておりますのでこれは非常に素晴らしい事業だと思っております。

ただ、参加して一つだけ残念なことがありました。食事の時に7～8名のネイティブ講師の先生方がおられて、テーブルを囲んでネイティブの先生方が「thank you for the dinner」ということで「いただきます」ということをしゃべって、後から生徒が唱和するということがあったのですが、その後の様子を見ると全然英語が飛び交っていませんでした。ネイティブの先生と話せるというとてもいいチャンスなのに、子ども達から積極的に先生に話しかけるという姿勢がすごく足りないなと思いました。

私は、せっかく良い企画ですから、恥ずかしいということではなくて、失敗してもいいから単語でもいいから、先生に語りかけ自分の意思を伝えるという積極的な姿勢を持ってもらって、キャンプ場とかいろいろな場所で単語が飛び交う場面を描いています。そんな雰囲気にしてもらえれば、一泊二日でも非常にいい体験になると思います。

私たち日本人のいけないところは、文法はできているのですが、コミュニケーションとか

会話を考える際にまず文法から考えてしまいます。この表現は主語がきて動詞がきてと順番に頭で考えてやっと言葉にするので堅苦しい文章になってしまい、コミュニケーションにつながらないんです。

むしろフレーズになっていなくても、自分が言いたい単語を二つ三つ並べてジェスチャーも交えれば、ネイティブの方は理解して平易な言葉で返してくれるのでそれがトレーニングになると思います。

今後、そういう雰囲気ของイングリッシュキャンプへ徐々に育っていけば非常にありがたいなと思います。教育長もキャンプファイヤのセッティングや火付けをされ、皆さん頑張っておられたので楽しかったです。

(森田町長)

このイングリッシュキャンプについて、去年は貝塚市のキャンプ場でしたが、もともと葛城山の上で行っておりました。

私も何回か同行してキャンプファイヤもしましたけれども、先生と会話するときは英語ですが友達同士になると日本語の会話に戻ってしまして、やはりその辺は恥ずかしいという気持ちがあるようなので、もう少しいろいろなところで慣れるということが大事だと思います。

そのような英語に慣れるための一環として、ALTの方を各学校に1名配置しておりまして、外国人の方と触れ合う機会もすごく多くなるのかなと思いますので、そういった点では進めていきたいと考えています。

(西川委員)

今、藤原委員の方からもありましたイングリッシュキャンプは私も何回か参加させていただいて、ちょっと感じていることも含めて今のお話の通りかと思います。教育活動というものは一定の狙いがあるって、教育価値が非常に大事になってくるかと思います。

この活動で何を学んでいるのか、藤原委員は例としてネイティブの方との会話を通じた英語体験を挙げられましたが、すべての活動でこういう狙いがあるから今年はこれでいこうとか、次はこれを反省材料として来年はこれでいこうか、というような、単にお金をつぎ込めばいいというものではなくて教育的な目的がきっちり達成できるような内容をしっかり押さえてやっていくことがとても大事なかなと思います。

行政の方は前年度を参考にしながら、今年もこれでいこうというような形でされますが、前年度の反省を踏まえて来年はこうやっていこうというような反省に基づいた活動にしていきたいかなと。事前指導する時間がとても短くてなかなかうまくいかないことも良く分かってはいますが、去年と同じ内容だったなということではなくて、せっかく貴重なお金を使って子どもたちが参加していますので、狙いをしっかり持ってもらって、すこしでも充実していくような取り組みができたなら、私自身の反省も踏まえてと思っている

ところですので、よろしくお願いします。

(森田町長)

他に何か。安居委員何かございませんか。

(安居委員)

また後にします。

(新田教育長)

私の方から、いろいろ予算を上げていただきましてありがとうございます。森田町長が選挙に出られた時に作成されたマニフェストの中でも教育に関わる項目がたくさん載っており、本当に興味を持っていただいていることに感謝する次第です。

その中で、学校給食の無償化があったかと思いますが、今回のコロナ禍において家庭の負担が大きいということで、現在は新型コロナウイルス感染症対策として給食費の半額助成を行って継続もしています。

今後、このマニフェストでの給食費の無償化についての方向性について、町長の考えをお話できる範囲で結構ですので教えて頂ければと思うのですがいかがでしょうか。

(森田町長)

今回の資料の中では記載されていないのですが、給食費の無償化をやっていききたいということでマニフェストや選挙公約であげさせていただいております。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴って新型コロナウイルス対応予算を使いまして、学校給食費の半額助成を今年の3月までの1年間行いました。来年度では、今のところ当初予算で半額助成を続けるということで計上して議会に提案しようとしていますので、引き続き半額助成を進めていきたいと考えております。

将来的には財源が問題になってきます。半額助成では約3,000万円弱の費用がかかるという試算になっていますので、全額になるとその倍ということで財政的な見地も含めてどこから捻出するということでやっていきたいと思えます。

捻出の方法ですが、コロナの関係で非接触型のさまざまな支払や申請の方法が話題になっておりまして、国の方でもデジタル庁を設置する法案が提案されているようですが、デジタル化を進めて事務の効率化を図ることで少しずつ財源を捻出できないかと。まずは庁内のデジタル化を進めるということと、各種申請においてRPAというかアプリ等で事務処理もそのままやっていけるような仕組みを研究するという方向で考えています。

今年の1月には、庁内でデジタル改革プロジェクトチームを立ち上げました。このプロジェクトチームを中心として改革を進め、経費削減によって浮いたお金をさまざまな政策に回していきたいと考えております。よろしくお願いします。

ただ、結果が出るまでには長い期間かかりますので、まずは押印をなくすこと、そしてインターネットやアプリなどで申請をできる仕組みを構築し、申請されたものの事務処理もすべて連動してできるような形を研究していこうかと思っております。1年、2年かそれ以上かかるかもしれませんが、最終的に一つ一つの事務に対応していこうかと思っております。

その皮切りとして、コロナワクチン接種はインターネットの申込みということで、大阪府では先行接種の医療従事者についてはLINEで申込みなどを構築されているようですが、LINE申込みについてはすごく簡単な仕組みのため他に応用が難しいとも聞いておりまして、そういうことも踏まえて、コロナワクチン接種をスムーズに進めていけるよう担当部署で検討しております。

あと、去年策定した教育大綱がお手元にあるかと思いますが、その中の3ページ目に河南町第四次総合計画とあって、計画期間が令和2年度までとなっております。

この次の計画ということで、総合計画に代わるものとして、現在、まちづくり計画というものを作成しています。第四次総合計画は計画期間が10年となっていました、10年という長い期間は目まぐるしく社会情勢が変化する昨今にはそぐわないということで、まちづくり計画は計画期間を5年としまして、ほぼ完成に入っております。来週ぐらいからパブリックコメントとして皆様にお示しする予定です。教育の部分も入っておりますので、その点も踏まえて引き続いてやっていこうと考えています。教育大綱の内容もほとんど網羅されているような計画になっているかと思っておりますので見て頂ければと思います。

後は、コロナ感染者に対する差別が起こらないよう私としては気にしています。子どもの中で陽性者はいないのですが、そういうことが起きれば子どもの心のケアが必要と思っております。

親や家族の方が陽性になっておられる方もおられますので、噂が飛ぶようなことが無いようにしていかなければならないかと思っております。また、学校の関係であれば色々と会議を開いて協議をしなければならないかと思っております。

(森田町長)

他にご意見ありましたら。

(安居委員)

資料の「4 社会教育・生涯学習の充実」のうち「元気いっぱい！未来へジャンプ（子どもの体力向上）事業」について、中村こども園に対しての実施事業かと思いますが、具体的にどのようなことを行っているのか、園で実施されているのか、あるいは、何か取り組むような内容があるのかを教えてください。

(田中課長)

中村こども園では園自体で実施しておりまして、その内容としましては体力がつくような運動遊びを行うための備品を購入し、それを使った指導を行うインストラクターを園に招集して催事に適した運動遊びを行っています。プログラムも運動指導士が入りまして、こどもに適したプログラムを提供するということで行っております。

(森田町長)

他によろしいですか。

(安居委員)

はい。

4 閉会

(森田町長)

後からでもご意見等ありましたら、私の方でも教育委員会を通じてでも結構ですので、いただければと思っております。ご意見に沿った形での対応ができるようコミュニケーションもとっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

学校関係、教育関係、社会教育も含めてなんですが、プラスの次の予算があると思いますので続いて、その点については順次、教育委員会を通じてお知らせするということでご理解を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

その他、先ほど申し上げた組織については検討させていただいて、最終決まりましたらお話をさせていただきたいと思います。

それでは、総合教育会議を終了とさせていただきますので、後は事務局にお願いします。

(上野係長)

それでは、これをもちまして、令和2年度第2回総合教育会議を終了いたします。

なお、本日の会議の概要につきましては、運営要綱第8条に基づき、後日、町ホームページ上で公表させていただきます。議事録ができ次第、委員にご確認いただきますので、よろしくお願いします。本日はどうもありがとうございました。